

愛媛県歴史文化博物館

No.66

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

昭和子ども図鑑

平成23年7月16日[土]～9月4日[日]

この展覧会では、昭和の子どもが楽しんでいたモノが大集合します。

子どもにとって身近で大好きな食べ物はお菓子。誰にでも思い出の味としてキオクに遺るお菓子があるのではないのでしょうか。1909年に大阪で創業した菓子卸売業最大手の株式会社山星屋は、江戸時代から現代までのお菓子の歴史を物語る3万点を超えるコレクションを所蔵されています。その膨大なコレクションの中から、大正・昭和にかけての資料を中心に選び、お菓子の歴史と文化を振り返ります。看板・ポスター・菓子箱・おまけなど、懐かしいお菓子資料の数々から、思い出の味を探してみてください。

また、テレビが普及する昭和30年代まで、子どもの娯楽の中心には紙芝居がありました。塩崎おとぎ紙芝居博物館は、絵元が紙芝居屋に貸し出していた街頭紙芝居30万枚を収蔵している紙芝居の専門館です。博物館に残る当時の紙芝居は1枚1枚が手描きの貴重なもので、子どもに訴えかける力強さや、原画だけが持つ迫力が感じられます。「お笑いユーモア」「チャンバラ時代劇」「活劇ヒーロー」「怪奇ホラー」など、子ども心をわくわくさせた紙芝居の世界が展示室によみがえります。

目覚ましい戦後復興を遂げた日本は、高度経済成長の時代に入ります。電気釜をはじめ、洗濯機、冷蔵庫と身の回りに電化製品が少しずつ増えていき、暮らしが大きく変化していきます。特に、テレビの出現により、スポーツ中継や数々の番組が生まれ、そこから新しいヒーローも誕生します。展示ではテレビの登場をきっかけにした子どもの世界の変化についても取り上げます。

当時の子どもが味わったモノ、ハラハラドキドキしたモノ、夢やあこがれだったモノを通じて、昭和という時代の空気をぜひ感じてください。



菓子缶（昭和初期～）／山星屋コレクション



紙芝居屋さん（昭和30年頃）／井上敬一郎氏提供



ホウロウ看板
不二家のミルクイヤー／山星屋コレクション



飴屋さん（昭和31年）／福井稔氏撮影

■展示構成

お菓子図鑑／お菓子屋さんの再現／紙芝居図鑑／教育スライド図鑑／青空家電市の再現／おもちゃ図鑑／本屋さんの再現



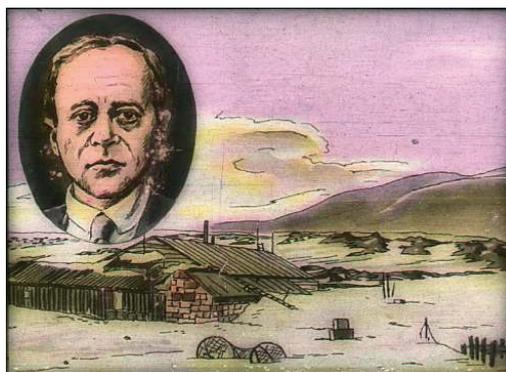
汽車のキャンディー入れ（昭和初期）
山星屋コレクション



カタカタ（昭和30年代）
井上敬一郎氏提供

歴史
・
文書

教育スライドフィルム



年代 昭和23(1948)年~昭和30年代
所蔵 当館蔵

第二次世界大戦後の昭和二三(一九四八)年、アメリカ進駐軍は日本の民主化手段の一つとして視聴覚教育を重視し、アメリカの民主主義を紹介したフィルム、映写機、幻灯機等を県に無償貸与し、愛媛県視聴覚ライブラリーが誕生しました。これをきっかけに、県内各地の社会教育や学校教育の場で、教育用の映画やスライドの映写会が広がっていききました。



ルマの竖琴「南極探検物語」といった学校教育用の児童・生徒向けのものや、「村の若妻教室」「明るい村づくり」「蚊とはえのいない生活など近代的な生活のあり方を説く社会教育用のものがあり、戦後の復興期から高度経済成長期にかけての愛媛県内の教育内容の「コマがうかがえます。

これらのスライドは、県内各地の学校や公民館などを巡回しながら、幻灯機にかけて上映されたものです。教室の子どもたちや、公民館に集まった地域の人々は、暗闇に浮かびあがるスライドの画像を熱心に見入ったことでしょう。

(専門学芸員 土居聡明)

歴史
・
文書

明治ミルクキャラメル化粧箱

キャラメルの紙箱を片手に持ち、犬とたわむれる少年。少年の頭には特徴的な帽子が見えます。この帽子をかぶった少年の名前がすぐにわかる人は、現在では少ないかもしれません。しかし、昭和初期に生きた人々なら、彼が「正ちゃん」であることをたちどころに見破ったことでしょう。

「正ちゃん」は今でいう人気キャラクターの走りともいえる存在です。大正12(1923)年、「日刊アサヒグラフ」の漫画「正ちゃんの冒険」に登場してから、瞬く間に大人気となりました。初登場の際の「正ちゃん」は学生帽でしたが、後に毛糸の帽子がトレードマークとなり、「正ちゃん帽」として流行しました。

この「正ちゃん帽」をかぶった少年の絵柄が、明治キャラメルの箱に採用され発売されたのは昭和4(1929)年。ちなみに、「グリコ」におまけの小箱が付いたのも同年で、大正時代からのお菓子の大衆化の動きがこれにより一層進んでいきます。キャラクターとタイアップしたお菓子のパッケージ。まさに大衆の時代の幕開けを告げるにふさわしい広告といえます。



年代 昭和初期
サイズ 縦28.8cm、横21.5cm、高10.0cm
所蔵 当館蔵

(専門学芸員 井上 淳)

*「教育スライドフィルム」は、特別展「昭和子ども図鑑」において7/16～9/4の間展示・上映します。
*特別展「昭和子ども図鑑」では、株式会社山星屋所蔵の同じ絵柄の明治キャラメルの化粧箱が展示されます。

「昭和子ども図鑑」



関連イベントのご案内

特別展会期中(7/16~9/4)の土・日・祝は楽しいイベントがいっぱい!!
この夏は、昭和レトロなれきはくへLet's Go ☆

「復活!街頭紙芝居」

ほんまもんの原画を用いて、当時のスタイルそのままの街頭紙芝居がよみがえります。

日時/7月16日(土)、17日(日)
8月13日(土)~15日(月)
27日(土)、28日(日)
13:30~14:30~

参加費/無料

場所/エントランスホール



アメ玉をつくろう

日時/特別展会期中の
土曜日・日曜日・祝日
10:00~12:00
場所/エントランスホール
材料費/300円 先着30名



夏のこども歴史館

昭和の遊びを体験しよう!

日時/特別展会期中 9:00~17:30
場所/エントランスホール
参加費/無料



れきはくお化け屋敷 part2-学校の怪談-

昨年大好評だった、お化け屋敷がさらにパワーアップ!
きみは恐怖の授業にたえられるか!?

日時/7月16日(土)~8月31日(水) 13:00~16:00

※土・日・祝日は10:00~12:00も実施

場所/こども歴史館

入場料/特別・常設展共通券(当日券)が必要です。

MYうちわをつくろう

日時/特別展会期中の土曜日・日曜日・祝日
13:00~16:00

場所/エントランスホール

材料費/200円



れきはくの夏☆スタンプラリー

日時/特別展会期中 9:00~17:30

参加費/特別・常設展共通券(当日券)が必要です

※各イベントの事前申込は受け付けておりません。 ※友の会会員は各有料イベントの材料費が一回無料となります。



こども歴史館からのお知らせ

こども歴史館が お化け屋敷に変身するよ!

お化け屋敷の開催中を含め、準備・片づけのため、下記の期間中、こども歴史館は、エントランスホールへ移動します。ご了承ください。

7月2日(土)~9月4日(日)

スタッフブログをチェックしよう★

こども歴史館スタッフブログには、はに坊からのメッセージやイベント情報が盛りだくさん!ぜひのぞいてみてくださいね。

URL <http://www.i-rekihaku.jp/staffblo/>

れきはくのあしあと

平成23年4月29日~5月5日・7日・8日の9日間、れきはくでは特別展「時の迷路ー香川元太郎のフシギな世界ー」にちなんで、各種イベントを実施しました。

4月30日・5月1日には、講演会「香川元太郎先生と迷路で遊ぼうー迷路はこんなにおもしろい!ー」を開催しました。香川さんご本人と迷路を楽しめるとあって、当日は受け付け開始前から行列ができる人気ぶり。会場は迷路のかくし絵を探す子どもたちで盛り上がりました。講演会終了後のサイン会もご好評いただけようです。

また、こども歴史館で実施したよろいの着付け体験では、子どもたちがカッコイイ鎧に身を包み、戦国武将気分を満喫していました。

9日間で27,031名の方が来館されました。たくさんの皆さまのご来館、誠にありがとうございました。



平成 23 年度 歴史文化講座

歴史・文書講座 13:30~15:00

講座番号②「伊達宗城と有志大名の交流①徳川斉昭」
日時:6月26日(日)
講師:藤田 正(当館学芸課長)

講座番号③「伊達宗城と有志大名の交流②山内豊信」
日時:7月10日(日)
講師:藤田 正(当館学芸課長)

講座番号④「古文書解説初級講座「往来物を読む①」」
日時:8月28日(日)
講師:安永 純子(当館学芸員)

講座番号⑤「古文書解説初級講座「往来物を読む②」」
日時:9月11日(日)
講師:安永 純子(当館学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

講座番号①「愛媛の民俗文化ー東・中・南予の地域性ー」
日時:7月3日(日)
講師:大本 敬久(当館学芸員)

講座番号②「脳内イキイキ!昔の道具で回想法」
日時:9月25日(日)
講師:松井 寿(当館学芸員)

【講座の申込方法】

希望する講座番号又は講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前、体験講座は2週間前までにはがきなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

考古講座 13:30~15:00

講座番号①「弥生の木製農耕具」
日時:6月12日(日)
講師:亀井 英希(当館学芸員)

体験講座

講座番号④「えひめの歴史・産業体感ツアー①」
「遊んで学ぼう別子銅山」バスツアー(定員30名)
日時:7月28日(木) 8:30~17:30
参加費:3,000円程度

講座番号⑤「えひめの歴史・産業体感ツアー②」
「紙漉きを学ぼうー紙と木ろうで栄えた町・内子町をたずねるー」
(定員20名)
日時:8月4日(木) 9:00~17:00
参加費:2,500円程度

講座番号⑥「和布でコサージュづくり」(定員20名)
日時:8月20日(土) 13:30~15:30
講師:中井 順子氏
材料費:800円程度

講座番号⑦「えひめの歴史・産業体感ツアー③」
「南予の食文化を学ぼうーじゃこ天づくり体験&お菓子工場見学ー」
バスツアー(定員30名)
日時:8月25日(木) 7:30~18:00
参加費:1,500円程度

講座番号⑧「綿から糸をつかってみよう」(定員10名)
日時:9月17日(土) 13:30~15:30
講師:宇都宮 美紀氏(愛媛県教育委員会生涯学習課)
参加費:200円程度

◆展示スケジュール 2011.6 - 2012.3 ◆

2011	6	
7		
8		特別展「昭和子ども図鑑」 7月16日(土)~9月4日(日) ▶「夏休みイベント」8月13日(土)~8月15日(月)
9		
10		特別展「邪馬台国時代の伊予・四国」 10月8日(土)~12月4日(日) ▶「開館記念日イベント」11月13日(日)
11		
12		▶「新春イベント」1月2日(祝・月)・1月3日(火)
2012	1	
2		▶森林環境税活用事業「森の博物館」2月4日(土)~2月19日(日)
3		企画展「四国へんろの旅ー絵図・案内記と道標ー」 2月21日(火)~4月8日(日)

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

臨時休館のお知らせ

6月21日(火)、22日(水)

博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。

夏休みは毎日開館しています!

7月20日(水)~8月31日(水)

は休まずに開館しております。

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30 (入館は17:00まで)
※8月1日(月)~8月21日(日)は18:30まで開館します。(入館は18:00まで)

■休館日 月曜日 (下記カレンダーをご参照ください)

■観覧料

区分	一般	団体
	小・中学生	無料
大人(高校生以上)	500円	400円
65歳以上	250円	200円

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2011.6-8 休館日 ★夏休みイベント

6月							7月							8月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4						1	2			1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	★	
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	★	★	16	17	18	19	20	
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM OF EHIME HISTORY and CULTURE
管理運営:指定管理者 イオテック ケータラーサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成23年6月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館